

# はるかな尾瀬

## 目次

- 02 特集 尾瀬の新しい活用が始まる
- 04 特集 YouTube『かほの登山日記』特別インタビュー
- 06 現地情報
  - 原をわたる風だより
  - おこじょだより
- 08 NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト第25回受賞作品の販売について
- 09 尾瀬ボランティア情報
- 10 尾瀬保護財団からのお知らせ



2022.12 vol.50  
(公財)尾瀬保護財団



今だけ限定「尾瀬ヶ原湖」 (@nudibranch45)



初夏の尾瀬 (@yblue\_1157)



蘇る天空の楽園アヤマ平 (@nozawaonsen\_tours)



オリオン座流星群観測未遂のち日の出を待つ (@shinokamoto)



ワタスゲ行進曲 (@sorae.3)



静寂の夜 (@\_rysk\_)



昨シーズン、モニターツアーが開催され、新聞やテレビのニュースでも話題になったNational Park OZE CAT Tour (ナショナルパーク尾瀬キャットツアー)が今冬に本格始動します。そこで、この尾瀬の新たな利活用の取り組みについて、(一社)尾瀬アウトドアスポーツ振興会代表理事の沼野健補氏にアンケート取材しました。

### 尾瀬キャットツアーの主催団体をご紹介ください。

ツアーを主催する一般社団法人アウトドアスポーツ振興会は、気候変動に対して適応していく新しい取り組みと、尾瀬片品エリアにおける、アウトドアスポーツと地域振興を目的に、令和3年12月に新しく作られた組織です。CATツアーをきっかけに設立した団体ですが、今後新たな企画も考えています。

### ツアー開催の経緯をお聞かせいただけますか。

10年前前、富士見峠まで村道を使ってスキー場から雪上車(CAT)で行く計画を「尾瀬ロジ」のご主人に相談したところ、面白そうだからやってみよう、雪上車を用意してくれ



雪上車(CAT)に乗って、富士見峠まで

たのがきっかけでした。当時、吹き溜まりなどは手作業で掘り進んで、風が吹いて翌日一からやり直し：など何度もトライしながら、富士見峠まで上がり、村道を活用した新しい事業を模索し始めました。それから数年後、気候変動が顕著化し、標高の低いスキー場では、雪があまり降らなくなってしまいました。そんな時、尾瀬や山に詳しい(自分が働いている)隣のスキー学校の先輩から「昔は、雪が少ない年は、雪がある所まで登って滑ったものだよ。」と助言を受け、各峠(鳩待・富士見・三平)の雪と斜面状態を歩いたり、滑ったりしながらリサーチするようにになりました。その中で、一番安全で、利便性が良く、現実的で楽しく、奥行きがあり、副産物によって喜ぶ方が沢山いるのが富士見峠でした。

決心したのは、山小屋の除雪作業の際に使うスノーモービルで、鳩待峠までの危険なトラバース中に怪我人が出た事でした。300kgの車体に60kgの荷物を乗せ、長いトラバースをしていくのは、この先長くは続かないだろうと思いました。また、50年程前、馬方をしていた「ロジまつうら」のご主人からは、「戸倉から尾瀬ヶ原に物資を運搬するのに一番便利な道は富士見峠。富士見峠を拓くというのは、すなわち尾瀬を開く事になり、全ての山小屋へのアクセスが可能になる。」と聞きました。そこで今回の富士見ルートを開くことで生まれる様々なメリットが浮かび上がりました。

もちろんアヤマ平からの絶景や春スキーも最高だと思えますが、山小屋にアクセスが良くなるということは、除雪や運搬作業も楽になり、今後営業期間を長くすることも可能になります。残雪が豊富にある3月など、山小屋泊のスキーツアーやスノーシューツアーなどを開催して、これまでにない尾瀬の楽しみ方ができるようになればと思います。

### ツアーの内容や見所を教えてください。

ツアー内容は、スノーパーク尾瀬戸倉に集合し、装備を確認し、CATに乗車します。途中田代原で休憩を取りながら約1時間で富士見峠に到着します。峠からはスノーシューに履き替え、アヤマ平までゆっくり20分歩き、今まで一般的には見る事ができなかった「冬の尾瀬」を見下ろすポイントで、景色を楽しみます。富士見峠まで戻ると、冷えた身体を温めてくれる



至仏山と燧ヶ岳を一度に拝める大絶景

食事待っており、天気が良ければ雪のテーブルを使って、大自然の中で食事を楽しむことができます。ツアーの見所はなんといっても景色が一番の魅力だと思えます。南東を見れば日光連山と片品村を一望でき、赤城の奥に富士山が。北西を見れば山形の飯豊連峰や上越国境の山々が雪上車から見渡せます。今まで足が強い人しか見られなかった冬のアヤマ平からの景色を、歩くのが苦手な高齢の方やお子様でも、気軽に楽しめるようになりました。CATの中からも大展望が楽しめる場所があるので、雪上車に乗り降りさえ出来れば初心者でも参加すること

ができます。(※悪天候時や積雪状態が悪い場合は、ツアーを中止する場合があります。)

こういった服装や装備で参加すればよいですか。

参加する際には、スキーやスノーボードをする服装で大丈夫ですが、サングラス、グローブは必須です。道具がなければスキー場内でレンタルするか売店で購入することもできます。スノーシュー、ストックのレンタル料はツアー料金に含まれています。

昨シーズンのモニターツアーでは参加者からどんな反応がありましたか。

モニターツアーに参加された方たちから、まず初めに多く頂いたコメントが「雪上車に乗ったことがないのでワクワクする」といったお声でした。

ツアーが進み、大雪庇を眺められるポイントでは、一般参加者はもちろん地元の方からも「こんな身近にこれほど迫力がある景色があるとは驚いた」というコメントを頂きました。

富士見峠に到着後はスノーシューを装着するのですが、初めて体験する参加者も、「そんなに大変ではなかった」とお声をいただき安心しました。

スノーシューツアー中は、尾瀬のベテランの方から「冬は積雪により視点が高くなり、更に木道以外の場所も歩いて行けるので、アヤマ平から尾瀬ヶ原を見下ろすことができたことに感動した」といった感想をいただいたことが記憶に残っています。

また雪上でのランチも「雄大な景色に囲まれて食べる」と、とても好評でした。

たとえ天候が良くない日でも、雲の切れ間から覗く山々や、林の中を

スノーシューでゆっくり歩くなど、その時の環境を楽しんで頂き、満足して頂けたのが、ガイドとしても安心してこの場所を案内する自信に繋がりました。

最後に一言ご感想。

利用者が減少している尾瀬富士見峠を再活用することで、同エリア内の関係人口の増加、並びに通年の雇用機会を図っていきたくと考えています。

当社団法人で生まれた利益は全て富士見峠の整備、及び尾瀬全体の活性に充て、民間発の経済及び資源が循環する仕組みを構築していく予定ですので、皆様のご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

(この記事は、沼野氏へのアンケート取材を元にインタビュー形式に纏めたものです。)



季節限定の美しい景色を満喫



富士見峠でお食事タイム

### ツアー詳細

開催期間(予定) 2023年2月23日(木)~4月16日(日) ※期間中は基本毎日開催を予定しています。

ツアー料金 (スノーシュー、ストックのレンタル料込み)  
 スノーシューコース :1名 33,000円(税込)  
 バックカントリーコース:1名 49,800円(税込)

お問合せ先 (HP)<https://ozeoutdoorsports.com/>  
 メール [inquiry@ozeoutdoorsports.com](mailto:inquiry@ozeoutdoorsports.com)  
 電話 080-4913-3219



雪で覆いつくされたアヤマ平を歩く

### 《取材協力》 沼野健補 (ぬまのけんすけ)

尾瀬戸倉スキー場をベースに、世界の山々を滑りながら、理想の場所を探し求め、至仏山の滑走をきっかけに、自分にとっての理想郷は、出発地点である尾瀬であることに気が付き、片品村に1ターン。丸沼高原にある「森の宿 Amber」を経営、アウトドアガイドカンパニー「HIGHFIVE mountain works」を主催。

一般社団法人尾瀬アウトドアスポーツ振興会 代表理事  
 (公社) 日本山岳ガイド協会認定 登山ガイドⅡ / スキーガイドⅠ  
 片品山岳ガイド協会 認定ガイド / 風紀委員  
 片品村学校運営協会理事  
 片品村ゼロカーボンパーク実行委員

特集

YouTube『かほの登山日記』  
特別インタビュー



尾瀬保護財団とYouTube「かほの登山日記」のコラボレーションにより作成した動画2本(燧ヶ岳編・至仏山編)が7月下旬に順次公開されました。「尾瀬の百名山2座を1泊2日で登る」というテーマで、1日目には御池↓燧ヶ岳↓見晴新道↓見晴(山小屋泊)、2日目は見晴↓山ノ鼻↓至仏山↓鳩待峠の行程を人気YouTube「かほ」さんに撮影・動画制作していただきました。

登山歴はどれくらいですか？

6年くらいです。

山登りの際に心がけていることはありますか？

無理をしないということですね。でも自分の限界を超える登山もたまにあります。例えば、北海道のトムラウシへ行った時は歩行時間がとても長くなりましたし、技術的に難しい北アルプスのジャンダルムへはガイドさんと行きました。1人で行く時は絶対に無理をせず、本当にゆとりのあるコースタイムを設定して、もしコースタイムが長い場合は、バスを使わずにタクシーでいち早く登山口に行ったりして、時間に絶対的に余裕を持たせるようにしています。ちなみに下りで飛ばす人がいますが、私はケガの原因になると思っているので、下りでもあまり飛ばしません。時間を作る。ということをとっても意識しています。

登山者の教訓になる失敗談があれば聞かせてください。

いつも1人で行くので、綿密に計画を立てます。な



かほ (YouTube チャンネル『かほの登山日記』)

岐阜県出身。テレビ番組のADとして働いていたときに番組中に失敗!その罰ゲーム企画で八ヶ岳の根石岳へ元旦雪山登山をすることになり、山の素晴らしさに目覚める。IT関連の会社へ転職後、2019年YouTubeチャンネルを開設し、2020年から専業に。現在チャンネル登録者数25.2万人(2022年10月末現在)の人気登山YouTuberとして、TV、雑誌、イベント出演など、多方面で活躍中。

のであまり失敗はないのですが、ネットに載っているコースタイムを参考にしていたら、自分の脚ではその速さで歩けないということがありました。その時、バスの時間があったので、なんとか間に合わせるために、山の中を走った記憶があります。地図もしっかりとチェックするべきでした。他の人のコースタイムを参考にすることも多いですが、人によってコースタイムは違うので、気を付けなくてはいいけませんね。

動画を発信するに当たり気を付けていることは？

何より、安全第一です。もし私が怪我をして救助されるということになれば、遭難は報道対象なので世の中に知れ渡ります。そうすれば、登山が危ないものなんだと思う人も増えるだろうし、登山YouTuberの責任として怪我は絶対にできないという風には思っています。もちろん危険もありますが、主に登山の楽しさを発信するのが、私の役目だと思っています。その意識が、先ほども言ったように時間に余裕のある行動という所にも繋がっていると思います。なので登山中に危ない箇所があったら、動画配信を通じて皆さんにシェアをして、できる範囲でリスクを減らしてもらえたらと思っています。

自然保護について考えていることはありますか？

自然保護活動について、現在行われている活動を動画で知ってもらおうということしかできていませんが、いずれは自分でも活動したいと思っています。今は自分でできることがあるのかなと、一歩踏み出せていませんが、登山道整備等、山を作る、山を守るといった活動に何かしら関わってみたいという気持ちがあります。

尾瀬でのオススメの過ごし方を教えてください。

山小屋で宿泊して、のんびり過ごすのがいいと思います。日帰りは勿体ない! 前回(2020年10月20日撮影)の時は山小屋の営業が終わっていたので、今回泊まれて嬉しいです。

尾瀬のどんなところが好きですか？

尾瀬はレベルに応じて楽しめることが素敵だと思います。今回の動画では1

泊2日で2つの山を縦走しますが、それだと中級者くらいの方でも楽しめるし、上級者なら残雪期の山スキーとかもできます。またハイキング程度の方には尾瀬沼や尾瀬ヶ原を散策することで自然に触れられるし、来る者拒まずというか、どんなレベルの人でも、何かしら楽しみ方が見つけれられて、とても良い場所だなと思います。どこの山でも言えることかもしれませんが、季節によって、全然景色が違いますよね。私が前来たのは秋で、尾瀬ヶ原は一面草紅葉のオレンジ色だったんですが、今回は緑で、全く違う表情なので、楽しいです。なので、尾瀬の入山者が減っているというのを聞いてびっくりしました。もしかしたらまだ尾瀬のことを知らない人や若い層がいるならば、その良さを届けるとするのは私の仕事かなと思います。

「尾瀬はもっとこうだったらいいのに」というところはありますか？

今のままで十分素晴らしいと思います。尾瀬の入山者が年々減っていると聞きました。私は逆になぜこれほど素敵な場所を訪れる人が減っているのかと疑問に感じます。都心からのアクセスはそれほど良いとは言えないので少しハードルが高いのかもしれませんが、少し遠い場所だからこそ普段感じることのできない自然が溢れているのだと思います。また、もしかしたら、自然のある場所に遊びに行くという発想が、多くの人に浸透していないのかもしれない。私も幼い頃は週末に家族でショッピングモールに出掛けたり、公園にピクニックに出掛けるということはありませんでしたが、自然と触れ合う機会はそれほど多くありませんでした。そのため「尾瀬がもっとこうだったらいいのに」というよりは「たくさんの方が自然と触れ合う機会をもっと持てたらいいのに」と感じました。私の活動がその一助になればと願っています。

読者の皆やYouTuberにお願いします。

尾瀬は何回も来たくなるような場所ですね。今回は秋の尾瀬ヶ原でしたが、今回は燧ヶ岳の頂上から尾瀬沼が見えて、尾瀬沼にも行ってみたいくなりました。違う季節に来て、色々な尾瀬の表情を皆で楽しみましょう！頑張って編集するので、YouTubeも見てください。(取材日：7月11日)

【撮影後記】

天気予報と睨めっこしながら比較的晴れそうな2日間(7月11・12日)を選んでの撮影となりました。2日目終盤には、雨に降られてしまいましたが、とても素敵な動画に仕上がったと思います。

コラボ動画ということで、かほさんは綿密に打合せした台本に沿って、テキパキと映像を撮っています。撮影から編集まですべてかほさん一人で行っていると聞いていましたが、その手際のよさに驚かされました。

皆さん予想はつくと思いますが、自分が歩いてくる場面や通り過ぎる後ろ姿を撮る際は、来た道を引き返しセットした機材を回収する必要があります。通常の登山より、歩行距離も時間も長かかりますが、かほさんは道中、閃いた編集プランを口にするなど、頭も身体もフル回転で元気いっぱい撮影を進めていきます。また、声を掛けてくる多くの登山者に対して、終始気さくに対応される姿も印象的でした。

7月下旬に順次公開された2本の再生回数は、11月末現在、合計20万回を突破しようとしています。この動画をさらに多くの方にご視聴いただき、尾瀬の魅力や自然を守ることの大切さを感じていただけたら幸いです。なお、撮影にあたっては、尾瀬小屋さんと歩荷の秋原雅人さんに御協力いただきました。この場を借りて、感謝申し上げます。

最後に、かほさん、これからも自然の素晴らしさを発信し続けてください。楽しみにしています！(大澤)



撮影風景 いい画を撮る為、惜しまぬ努力！



燧ヶ岳山頂にて撮影中



登山者に大人気のかほさん



燧ヶ岳山頂にて撮影中



至仏山では、少しずつお天気が…



雪渓も気を付けて登ります

YouTube動画のQRコードはこちらです！



至仏山編



燧ヶ岳編

# 原をわたる風日より

3年振りの制限無しのシーズンとなり、GWは至仏山に登る登山者やスキーヤーで、今までにない賑わいが見られました。

今年は特に雪が多い年で、山の鼻ビジターセンターの周辺では5m近く積雪がありました。雪の多い年は花が良いと言われますが、ミスバシヨウの株は例年より多く見られ、仏炎苞はいつまでも白くキレイだったのが強く印象に残っています。尾瀬を代表するミスバシヨウのきれいな状態を、たくさんの方に見ていただけたのは何よりでした



(西澤 政春)

南北にアヤマ平と景鶴山。東西に燧ヶ岳と至仏山。名だたる山々に囲まれた尾瀬ヶ原。この素晴らしい自然に囲まれながら、早くも半年が過ぎようとしています。今年も尾瀬ヶ原には草紅葉が広がり雪も無い落ちる季節になりました。今シーズンは昨年までのコロナ禍が幾分か落ち着き、尾瀬に登山者が戻って来たことを、とても嬉しく感じ、そして安心しました。やはり尾瀬は人が沢山居る方が尾瀬らしいなと感じます。このまま元の沢山の人に感動を与える場所に帰ってくればと思います。

(坂上 修司)

二年目の尾瀬勤務、山の鼻ビジターセンターで勤務することが出来ました。昨年と大きく違ったことはコロナ禍対応の規制緩和でした。尾瀬本来の賑わいを取りもどし、ビジターセンター業務の在り方に人とのコミュニケーションが沢山とれた半年間は有意義な日々となりました。自身は昨年より成長や納得できた日々を過ごせたのかと、自問自答しています。尾瀬の守人として過ごせた日々、知り合えた方々は宝物であり、自然に癒された時間はここでなければ得られない瞬間です。

(新保 正利)

初めての尾瀬でした。花や山の知識もなく、ただ、今までの自分の生活とかけ離れた環境に身を置いてみたいという理由でビジターセンターの管理員に応募しました。そんな自分が、花の名前を覚え、尾瀬の山に登り、白虹や夕焼けを追いかけるなんて想像もつきませんでした。尾瀬の自然とう向き合えばいいか、まだ自分の考えはまとまっていませんが、ただ尾瀬の空気の中にいることの気持ち良さを忘れることはないでしょう。本当に尾瀬に来てよかったです。

(泉部 充)

日本の自然保護発祥の地、尾瀬は山岳地帯特有の厳しい気候と豊かな自然の中で90年の歴史を持つ国立公園。保護と利用の絶妙なバランスを保つべく、この自然を守り

抜いてきた人々の熱意や苦勞に頭が下がります。驚いたのは水洗トイレが使えること、山小屋の和室で布団に寝られて手作りのご飯が食べられること。どれも当たり前のことではありません。年代を問わず手軽に触れ合うことができる大自然を100年後のわたしたちの子孫にも引き継いでいきたいものです。

(田原 さゆり)

管理員として働かせていただいた6ヶ月間、ゆったりとした心穏やかな毎日を送ることができました。それも、尾瀬の大自然の中に24時間浸っていられること、登山者の皆様とのふれあいの中で笑顔や感謝の言葉をいただいたお陰と思っています。また、山小屋や関係者の皆さんの協力、同じ管理員の皆さんに助けられ、毎日を送れたことに感謝しております。山の鼻V.Cの管理員として、尾瀬のよさを伝えること、環境保全に携われたことを嬉しく、誇りに思いません。

(渡辺 直子)

尾瀬のシーズンはあつという間でした。朝が弱い私にとって、5時半起床が習慣になるなんて、半年間、至仏山を目の前にしていたのに、一度も登らなかつたなんて(本当です)。このように、尾瀬での生活は、自分でも信じられないことばかり起きました。また、尾瀬ヶ原の巡回等を通して、自分自身の身体の変化にも驚きました。(どんだん動きやすい体へ)心身の健康を感じることができ、尾瀬って素晴らしいところだと再認識する経験となりました。

(笠原 枝理)



今冬尾瀬の豪雪は何十年ぶりの大雪でした。3月上旬戸倉から山ノ鼻地区まで、ヘリで移動し、山の鼻ビジターセンター(山V.C)に着きました。除雪機を屋外に出し除雪の準備をし、さて山V.Cの屋根はすっぽり埋まっています、どこから手を付けていいか、屋根の上には3m以上の積雪、除雪隊は思案しました。この日は快晴で青い空・真っ白な雪景色は最高、気持は重かった。5人で4泊5日何とか除雪作業を終え、無事下山しました。豪雪のおかげで春のミスバシヨウ等綺麗な花が見られました。

(笠原 宗利)



山の鼻ビジターセンター職員

# おじよだより

今、一面雪の中を尾瀬沼に上がってきた5月のことを思い出しています。あっといふ間にシーズンが終わってしまいました。

今シーズンは、宿泊場所である詰所が工事中のため、職員は使われなくなった旧ビジターセンターに宿泊していました。宿泊用に設計された施設ではないので、不自由な空間だったと思いますが、皆さん半年間頑張ってくれました。

来シーズンも美しい尾瀬と素晴らしい職員に出会えることを楽しみにしています。皆さん、ありがとうございました。

(阪路 善彦)

3回目の尾瀬沼での勤務。今年は副責任者も務めました。力不足で不十分な点が多くご迷惑をおかけしました。皆さんの協力・支援をいただきながらでしたが、尾瀬国立公園、尾瀬沼ビジターセンターを訪れた皆さんに少しでも貢献できたなら幸いです。今年もありがとうございました。

(追伸) 一般に

尾瀬は特別な場所  
で尾瀬等への自然  
訪問を「非日常」  
と捉えている方が  
多いようですが、  
身の回りにも自然  
は沢山あります。  
それを普段の生  
活、「日常」の延長



として捉え、「非日常」と区別すること無く  
親しみ、「日常」の中にご豊かさを見いだ  
して欲しいと願います。

(齋藤 孝)

「いつかは山を下らなければならぬ。  
下らなかつたらそれは遭難だ。」

人生の分岐点にいる今、亡くなった恩師  
の言葉と笑顔を思い出します。

かけがえのない大切な人、会えずに亡く  
なった人、家族の様に大切にしてくれる  
人々。私にはたくさんの「おかえり」があ  
りました。どこにいても胸を張って「ただ  
いま」が言えるように尾瀬は教えてくれま  
した。本当に長い間、ありがとうございました。

(川上 藍)

「尾瀬の一番いい時はいつですか。お勧  
めの季節はいつですか。」とよく尋ねられ  
ます。それに、「自分自身が来た時が一番  
いい季節ですよ。」とお答えします。春の  
雪解けの尾瀬、夏の緑あふれる尾瀬、秋の  
草紅葉の尾瀬、どれも素晴らしい。だけ  
ど一番いいのは自分自身が尾瀬を訪れた時  
だと思います。仕事が忙しくて、家庭の事情  
で、体調がすぐれなくて、遠すぎて、色々  
あります。そんな中で尾瀬を訪れることが  
実現できたこと自体が素晴らしいと思いま  
す。何度でも尾瀬にいらして下さい。僕も  
尾瀬が大好きです。いのち溢れる美しい尾  
瀬、尾瀬がいつまでも美しくありますよう  
に。

(玉田 英司)

早いもので、尾  
瀬の仕事に舵を切  
って半年が過ぎよ  
うとしています。

密度の濃い半年で  
した。自分の存在  
がビジターセンタ  
ーの運営、そして

利用者の皆様の役に立っているのだからか  
と自問自答する日々連続でした。そんな  
時に尾瀬の雄大で悠久な自然に包まれ、自  
然から沢山の力をもらって、自分らしくな  
るとか任期を終えようとしています。

ビジターセンターのご利用者様、尾瀬の  
仕事を通じて知り合った皆様、そして私を  
訪ねて尾瀬に来てくれた20組以上の仲間  
感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

(青木 敏彦)

私にとって初となる尾瀬のシーズンが終  
わろうとしています。少なくない不安の中、  
大清水から登ってビジターセンターに到着  
した5月の上山がまるで昨日のように感じ  
ますが、あれから5ヶ月あまりの日々で、  
多くの尾瀬の新しい表情を知ることが出来  
て、ますます尾瀬を好きになりました。仕  
事に慣れることに必死で反省ばかりの毎日  
でしたが、優しく支えてくださった皆様に  
感謝しかありません。素晴らしい日々をあ  
りがとうございました。

(馬場 大祐)

素晴らしい尾瀬の自然をより多くの人に  
紹介したい！その熱い思いと期待と不安を  
抱きこの尾瀬に入ってきたのが5ヶ月前。  
自分の中で沢山の葛藤があり、気づくと



シーズンが終わろうとしている。果たして  
自分は自分が思っていた仕事をやり遂げ  
られたのだろうか...という自問自答の日々。  
しかし、この5ヶ月間とにかく沢山の事  
を勉強した。自分自身でも、お客様と接す  
る中でも学ばせて頂く事が沢山あった。沢  
山の出会いもあり、温かい言葉を掛けて頂  
き、まわりの皆様には感謝しかありません。

(奥 美絵)

あっといふ間に半年が過ぎ去りました。  
5月の初めに群馬県庁へ集まったときのこ  
とが昨日のように思い出されます。半年間、  
大自然の中で過ごす経験は初めてで、残雪、  
新緑、お花畑、紅葉と毎日四季の変化を楽  
しみながら過ごすことができました。社会  
人生活一年目であり、皆様のお手を煩わせ  
ることもあったかと思えます。半年間皆様  
には大変お世話になりました。ありがとうございました。

(八幡 直輝)



尾瀬沼ビジターセンター職員

# NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト 第25回受賞作品の販売について

NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテストは、魅力に満ちた尾瀬を広く紹介するとともに、貴重な尾瀬の自然を見直し、自然保護への関心を高めることを目的として回を重ねてまいりましたが、2021年の第25回開催をもって、長い歴史に幕を下ろしました。

今までご応募下さった方々、表彰式や受賞作品展へ足をお運びいただいた方々、長年、開催にあたりご協力いただいた関係者の皆様へ、厚く御礼を申し上げます。

なお、新潟県、福島県への巡回展も盛況のうちに終了いたしましたことを、ここにご報告させていただきます。誠にありがとうございました。

さて、例年1月開催の前橋展では、コンテスト受賞作品を展示するとともに、前回の受賞作品の販売を行ってまいりましたが、今年は同展が開催されません。そこで、最後のコンテストの素晴らしい受賞作品を皆様へお届けするため、以下の形で販売させていただくこととなりましたので、ご案内いたします。

申込受付期間

12月14日(水)～1月3日(火)

当選者への連絡

1月5日(木)頃

代金支払期限

1月20日(金)

※当選の連絡を受けてからお支払い下さい。

## 販売方法

※最後までよくお読み下さい 後出の必須項目を記入して、メールもしくはFAXにてお申ください。

### ご応募先

【メールの場合】 harukanaoze@oze-fnd.or.jp

【FAXの場合】 027-220-4421

※同一作品へ複数の購入希望があった場合は、抽選により決定し、当選者(購入者)の方のみにご連絡申し上げます。その際、代金のお支払いの順序をご案内します。(第一希望が通らない場合でも、第二希望、第三希望をご記入いただくと、作品を購入するチャンスが拡がりますので、ご確認ください。)

代金お支払い確認後、作品をお渡します。

### 必須記載項目

件名に「フォトコンテスト作品購入希望」と明記の上、本文に以下の①～⑦について、もれなくご記入下さい。

#### ①希望作品

部門/賞/作品名を下記の例のようにご記入下さい。

《例：風景/金賞/影燧》

(第一希望) (第二希望) (第三希望)

作品は、NHKのホームページからご参照下さい。

<https://www.nhk.or.jp/maebashi/oze/oze25.html>

#### ②お名前(ふりがな)

③電話番号(指定の時間が在る場合は時間も記入。但し、平日8時半～17時の間に限る)

#### ④郵便番号

#### ⑤発送先住所

⑥お支払い方法(1.振込/2.直接お支払い)

⑦お受け取り方法(1.配送/2.直接お受け取り)

### 注意事項

●販売作品は作品展で使用された現品限りで、展示・運搬の際に傷が付いている場合がございますので、あらかじめご承知置き願います。決定購入者様にはご連絡差し上げる際、大きく目立つ傷についてはお伝えします。ご購入後の返品・交換はいたしかねますのでご了承ください。

●同一人物による、複数の名前を使用した申込・キャンセルは、他の方へのご迷惑となりますので、お控え下さい。

●なお、配送料金(参考：関東圏内、大きさにより1,700円～3,000円程度)と支払い手数料は購入者負担となりますので、ご了承ください

※群馬県庁20階の公益財団法人尾瀬保護財団内 NHK「わたしの尾瀬」実行委員会事務局への直接受け取り・支払いの場合は掛かりません。

販売価格(税込み)サイズにより価格が異なります。

(全倍) 4,000円(「風景」の金銀銅賞)

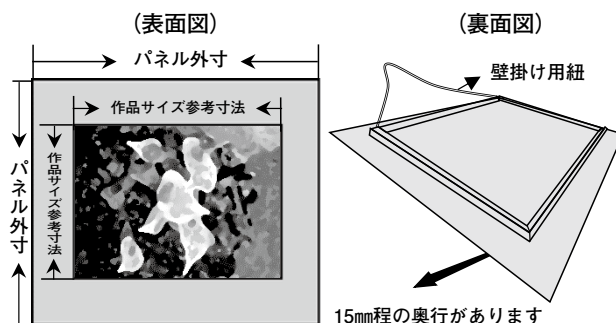
(全紙) 3,000円(「風景」の入選作品)

(半切) 2,000円(上記以外の作品)

### 作品(写真パネル)の規格について

#### 【写真パネルについて】

3ミリ厚の平面性に優れたアルミ複合板にプリント(作品)が直接圧着された加工パネルです。アルミの地肌が生かされた仕上がりになっています。



#### 【大きさ】

	パネル外寸(mm)	※作品サイズ参考寸法(mm)
全倍	1,100×800	900×600
全紙	720×610	560×457
半切	580×496	432×356

※カメラフォーマットや画像トリミングにより寸法が異なります。それぞれのサイズに合わせた寸法となっています。

お預かりした個人情報について、今回の作品販売に関する目的以外での使用や他者へ開示することは一切いたしません。

#### 《お問い合わせ先》

メールアドレス：harukanaoze@oze-fnd.or.jp

電話番号：027-220-4431

NHK「わたしの尾瀬」実行委員会事務局

(公益財団法人尾瀬保護財団 担当 大澤)



# 尾瀬ボランティア情報

このコーナーでは尾瀬ボランティアの活動を紹介します。

「ありがとう尾瀬清掃活動」と「研究見本園植生保護柵撤去作業」を実施しました  
～シーズン終盤、尾瀬の大自然への感謝を込めた清掃活動と越冬準備～

## ● ありがとう尾瀬清掃活動

10月8日(土)と16日(日)に、シーズン最後の尾瀬でのボランティア活動「ありがとう尾瀬清掃活動」を実施しました。

8日は、前日からの雨が早朝まで続き、尾瀬ヶ原の風はとても冷たく、冬の訪れを感じる1日となりました。そんな中、関東いすゞ自動車の方4名を含む11名の方にご参加いただきました。16日は、この時期には珍しく、半袖でも過ごせるような陽気となりました。この日は、全農ミートフーズの方5名を含む16名の方にご参加いただきました。両日とも、2班に分かれて清掃活動を実施しました。長距離でしたが、草紅葉真っ盛りの黄金色に輝く尾瀬ヶ原を満喫しながら活動することができました。

尾瀬はゴミが少ない印象がありますが、意識してみると木道脇や休憩スペース脇などに意外とあります。ふとした拍子にポケットやザックから落としたりと思われる、菓子袋や空のペットボトル、マスクなどが目立ちました。

活動中、すれ違う方々からお声がけいただき、今回のような巡回清掃活動や尾瀬ボランティアによる自主的な清掃活動が、他の入山者の方の意識にも働きかける活動だと改めて感じました。



ありがとう尾瀬 活動の様子

## ● 研究見本園植生保護柵撤去活動

研究見本園の植生保護のため、シーズン中は見本園の周囲に植生保護柵を設置しています。雪解け前の5月中旬に設置した保護柵ですが、雪の重みで破損しないよう、降雪前の10月12日(水)に撤去しました。

今回は平日の作業となりましたが、総勢26名の尾瀬ボランティア・企業ボランティアの方々にご協力いただきました。作業内容は、ネット及びネットを固定するアンカー・ポールを取り外し、ネットの収納です。設置時にはなかったクマザサや他の植物が、ネットやアンカーに絡みつき、また足場も悪く、思いのほか体力を消耗する作業となりましたが、紅葉の至仏山を眺めながら、楽しく作業していただいた様子でした。



保護柵撤去作業

## ● 尾瀬自然解説ガイドの紹介

尾瀬保護財団では、「尾瀬自然解説ガイド」事業を実施しております。尾瀬を訪れた方々により深く尾瀬を知っていただけるよう、尾瀬自然解説ガイドが尾瀬の自然や成り立ち、保護活動等を解説しながら、ビジターセンター発着の所定のコースを案内します。山の鼻ビジターセンター発着は4コース、尾瀬沼ビジターセンター発着は2コース設定しており、予定や体力に合わせて選択することができます。

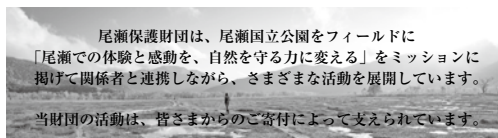
尾瀬自然解説ガイドは、尾瀬ボランティアのうち所定の要件を満たした方に担っていただいているボランティアガイドです。尾瀬ボランティアの活動を含む個々の知識や経験を活かし、ひと味違う尾瀬での体験を提供しています。



尾瀬自然解説ガイド

## 寄付のお願い

美しい尾瀬を未来に引き継ぐために皆さまからのご支援をお願いします



## ■所得税、法人税、個人県民税、個人市町村民税について

尾瀬保護財団へ寄付をすると優遇措置が受けられます。詳しくは、当財団ホームページをご確認ください。  
 ※所得税・法人税の詳細については最寄りの税務署に、県民税・市町村民税については、お住まいの都道府県・市町村にお問い合わせください。

## ■特別協賛寄付・協賛寄付について

企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、特別協賛寄付、協賛寄付の制度を設けています。

## ■寄付の方法

当財団へご寄付いただく場合は、財団事務局へご来訪いただくか、ご連絡の上、以下の口座にお振込をお願いします。

福島県	群馬県	新潟県
東邦銀行県庁支店 普通 1078095	群馬銀行県庁支店 普通 0515428	第四北越銀行県庁支店 普通 1182791

※振込手数料は寄付者のご負担となります。何卒ご了承ください。

※以下の口座を廃止又は廃止予定です。お振込の際には十分ご注意ください。

大東銀行福島支店口座／福島銀行本店営業部口座／東和銀行本店営業部口座／第四北越銀行（旧北越銀行）新潟県庁支店口座／大光銀行新潟支店口座

## ■注意事項

ご寄付の受領後、領収書等を作成・送付させていただきます。

ご住所及びご芳名が不明な場合、必要書類をお届けすることができません。必ず財団事務局へご一報ください。

■お問い合わせ先 公益財団法人尾瀬保護財団事務局（寄付担当） TEL：027-220-4431 Mail：info@oze-fnd.or.jp



## クレジットカードで寄付ができます！

ご寄付の方法として、新たに「クレジットカード決済サービス」を導入しました。

同サービスはコングラント株式会社が提供するシステムを利用するもので、お手持ちのクレジットカードを使い、より簡単にご寄付をいただけます。

尾瀬保護財団友の会会員の皆さまにも、会費やご寄付の払込方法としてクレジットカード決済サービスをご選択いただけるよう準備を進めております。

これからも尾瀬保護財団が活動を続けていくために、皆さまからの温かいご支援をお願いします。  
 ご寄付（決済完了）までのステップは次のとおりです。



「都度寄付」真QRコード

① 右のQRコード、又は <https://congrant.com/project/ozefnd/5503> にアクセス

※尾瀬保護財団ホームページ→「尾瀬を支える」タブをクリック→「尾瀬のためにできること」頁の「クレジットカード決済」をクリック、という手順でもアクセスできます。

## ② 都度寄付/継続寄付/クラウドファンディングから希望の寄付頁を選択

※現在「都度寄付」頁のみを公開しておりますが、他の頁についても準備が整い次第、順次公開してまいります。

## ③ 各頁上部の「寄付で尾瀬を支援する」をクリック

## ④ お申込画面に必要な事項を入力（寄付金額、住所氏名など領収書発行に必要な個人情報、クレジットカード情報）

## ⑤ 決済完了

※現在、ホームページのリニューアルを検討中です。トップページからスムーズにクレジットカード決済サービス頁にアクセスできるよう、順次、改善・工夫してまいります。

※税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けるためには、確定申告の際に「領収書（寄付金受領証明書）」の提出が必要となります。

※クレジットカード決済サービスをご利用の場合、領収書のお日付はクレジットカード決済日ではなく、寄付金が決済代行会社から尾瀬保護財団へ入金されたお日付となります。尾瀬保護財団への入金はカード決済日の翌月20日前後となります。領収書は入金を確認後に発行・送付いたします。確定申告にて寄付金控除をご希望の方は十分ご注意ください。

## 特別協賛寄付者のご紹介

※10月20日現在、五十音順、敬称略

## あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

通算寄付額 4,396,790円

## 糸井商事

糸井ホールディングス

糸井商事株式会社 通算寄付額 8,400,000円



私たちは  
持続可能な開発目標 (SDGs) を  
支援しています

環境・食・貢献をテーマに!

株式会社エコ計画 通算寄付額 7,000,000円

一生涯のパートナー

第一生命



Dai-ichi Life Group

第一生命保険株式会社 群馬支社

通算寄付額 1,500,000円

meiji

株式会社明治 通算寄付額 3,450,000円



投資の力で未来をはぐくむ

アセットマネジメントOne株式会社  
通算寄付額 41,153,321円

# 尾瀬紀行

尾瀬紀行(信託ファンド)で收受した信託報酬の一部をご寄付いただいております。平成19年より今回が16回目のご寄付となります。

通算寄付総額 82,306,641円



## 群馬銀行

株式会社群馬銀行  
通算寄付額 37,924,747円\*

私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます

\*尾瀬紀行(ぐんぎん証券様分)、横断幕寄付、ぐんぎんSDGs私募債、株主優待制度「寄付コース」、その他財団設立当初の一般寄付を含む。



## 第四北越銀行

DAISHI HOKUETSU BANK

株式会社第四北越銀行

通算寄付額 7,107,054円



## 第四北越証券

Daishi Hokuetsu Securities

第四北越証券株式会社 通算寄付額 1,934,540円



すべてを地域のために

## 東邦銀行

株式会社東邦銀行 通算寄付額 14,843,879円\*

\*尾瀬紀行(とうほう証券様分)を含む。

### 協賛寄付者のご紹介

※9月30日現在、五十音順、敬称略

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく



関東いすゞ自動車株式会社  
通算寄付額 600,000円



## 株式会社 市瀬

株式会社市瀬 通算寄付額 385,440円



クラブツーリズム株式会社  
通算寄付額 1,500,000円

## 一般財団法人群馬県警察厚生会

通算寄付額 1,200,000円



群馬県ビルメンテナンス協同組合  
通算寄付額 2,200,000円

## 群馬トヨペット

群馬トヨペット株式会社 通算寄付額 1,784,380円

## GN群馬日産自動車株式会社

群馬日産自動車株式会社 通算寄付額 900,000円

## KDDI株式会社

通算寄付額 556,700円



## 佐田建設株式会社

SATA 佐田建設株式会社 通算寄付額 300,000円



## 株式会社ジーシーシー

株式会社ジーシーシー 通算寄付額 600,000円



スマーク伊勢崎  
通算寄付額 1,000,000円



## 利根郡信用金庫

利根郡信用金庫 通算寄付額 3,745,390円



このまちの笑顔をふやそう。  
株式会社とりせん  
通算寄付額 2,778,562円



## NICHINEN

株式会社ニチネン 通算寄付額 1,600,000円



ひかり接骨院  
通算寄付額 703,000円

### その他の寄付者のご紹介

※令和4年6月1日～令和4年11月25日までの寄付者、五十音順、敬称略

公孫会北魚支部、齋藤裕、柴田慶子、SOMPOちきゅう倶楽部、株式会社高橋哲也建築計画

### 皆さまからのご寄付の用途について(尾瀬保護財団の主な活動)

皆さまからのご寄付は、旅行会社や登山者への普及啓発活動、ビジターセンターでの自然解説活動、公衆トイレや木道の維持管理、至仏山の環境保全対策、ニホンジカ対策、ツキノワグマとの共生、外来植物対策など、幅広い事業に役立てられます。



入山口啓発活動



至仏山登山道柵立て作業



シカ柵(ニホンジカ侵入防止柵)設置作業



自然解説活動(自然観察会)



木道の栈木打ち作業



特定外来植物(オオハングンソウ)駆除作業

## 尾瀬Instagram投稿キャンペーン2022

多くのみなさまにご参加いただき、応募写真枚数は合計3000枚を超えました。キャンペーンにご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！

表紙の写真は、今回選出された最優秀作品と優秀作品です。最優秀作品は、@nudibranch45さんの残雪期の尾瀬ヶ原湖を写した1枚です。



最優秀作品「今だけ限定『尾瀬ヶ原湖』」

## 作品説明(入選者コメント)

春の雪解け水が広がって、無雪期には見られない期間限定の湖が出現しています。それが再び薄ら凍っています。燧ヶ岳からのご来光が「湖面」に写り込んで幻想的でした。

## 尾瀬ボランティア総会を実施します！

コロナ禍で中止やWeb開催が続いた尾瀬ボランティア総会について、本年度はリアル会場での開催を予定しております。今年度は新規加入もありました。この機会に、是非尾瀬ボランティア同士の交流を深めましょう！

尾瀬ボランティアのみなさまのご参加をお待ちしております。

《開催日》2023年2月11日(土・祝)

《時間》13:30 ~ 15:30

《場所》JR高崎駅から徒歩10分程度の会場を予定(後日参加者に連絡)

## クレジットカードで寄付ができます！

自宅や外出先で、簡単に3ステップ寄付！

手順

※詳細は本誌10ページをご覧ください。

- QRコードを読み取り
- 特設ページ上部の「寄付で尾瀬を支援する」をクリック
- 必要事項を入力



▲ QRコード



皆さまからのご支援をお願いします!!

## 友の会コーナー

「友の会」は豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援して下さる方々の集まりです。

※加入・更新時期は年4回(5月・8月・11月・2月)です。

※令和5年2月1日からの加入・更新をご希望の方は12月30日までに会費の納入をお願いします。

## 《年会費》

個人	個人会員	1口 2,000円
	家族会員 (個人会員と同居の家族)	1口 1,500円
	ユース会員 (加入又は更新時に満22歳以下)	1口 1,500円
	賛助会員 (団体・企業等)	1口 10,000円
	特別会員 (企業等)	3年に渡る30万円以上の寄付または1回100万円以上の寄付

## 《特典について》

友の会に加入された方には、以下の特典を提供させていただいております。

- 友の会会員バッジ進呈(初回加入時のみ)、各種資料送付
- 財団機関誌：郵送にてお配りします
- 宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引(休日、祝祭日前等の除外日があります。)
- 尾瀬周辺施設利用料割引：入浴料割引  
対象施設等の詳細は財団ホームページでご確認ください。  
<https://www.oze-fnd.or.jp>

編集後記 | あっという間に、尾瀬シーズンが終了し、もうすぐ2022年も終了ですね。皆様、今年も大変お世話になりました。年を重ねるごとに、1年がどんどん短くなっているように感じますが、これには「ジャンナーの法則」という名前が付いているそうです。短くなっていると感じないためには、新しいことに挑戦するのがいいらしいです。私は、今年尾瀬ボランティアに登録したので、来年の尾瀬シーズンは気持ちも新たに、ボランティア活動を通して、尾瀬に関わっていければと思います。来年もどうぞ宜しくお願いいたします。(大澤)



OZE Mobile ● 緊急情報 ● お知らせ ● ライブ映像 など  
スマートフォンサイト情報配信中

Twitter @oze\_info

尾瀬情報配信中  
尾瀬の情報を随時発信します

